

バンパクは 150年の 夢がつまった びっくり箱



バンパクって
こんなに
楽しいんだ!

L O N D O N

ロンドン万博

最初の万博

全長564mのガラスと鉄の大建築クリスタルパレス(水晶宮)にびっくりまるで水晶でできた宮殿のようなところから名づけられた。ほかには、輪転機(印刷機械)、自覚まし時計、シャワー付き風呂、ステレオスコープなども登場。

水晶宮



金鉄とガラスを使った建物は、当時としてはとても革新的だった。



有料トイレ

水晶宮のトイレを有料にしたら大もうけ!



アツと驚く珍しいものや楽しいもの、便利な発明品などを世界中から集めたのが万博。そんな万博が最初に開かれたのはイギリスのロンドン。いまから150年ほど前のこと。万博の歴史の中ではいろいろなものが登場した。みんなが毎日使っているテレビや電話もそうだ。観覧車やローラーコースター、水族館なども万博から生まれた。万博は150年の夢や驚きがいっぱいつまったびっくり箱なのだ。探検隊のみんなといっしょに、さあ、開けてみよう!

アイコ

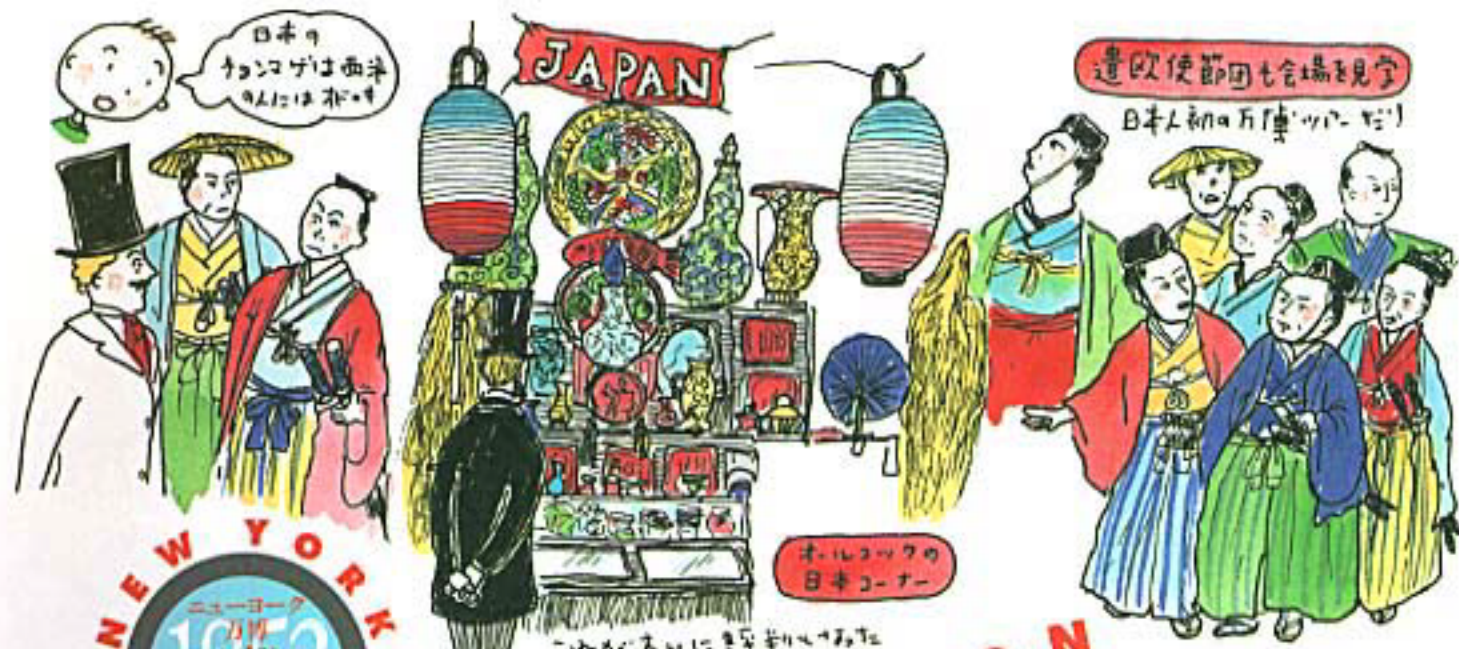
自然が好き、虫も好き

モリオ

しらべもの好き

ヒロシ

乗り物と食べ物が好き



NEW YORK
1853
ロンドンの成功に
続け!



ホルコックの
日本コーナー

遣欧使節団も会場を見学
日本人初の万博「ウー・ズ」



L O N D O N

ロンドン万博

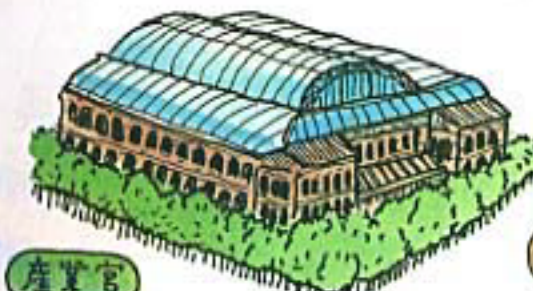
日本人が 初めて見た万博

日本コーナーが登場し、日本の美術工芸品にワンドフルの音が。幕府の遣欧使節団が会場を訪問。日本人初の万博見学ツアーとなった。福沢諭吉もいたんだって。ドイツの鉄鋼製品が大評判に。

PARIS
1855
充実した
美術展示



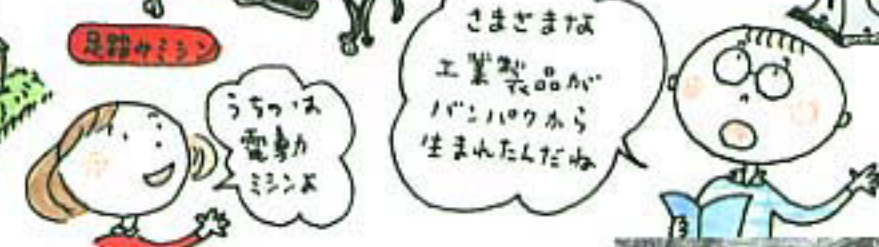
ニューヨーク万博の水晶宮



産業宮



蒸気ハンマー



足踏キリン

うちの電車が
ミシンよ

さまたま
工業製品が
バンパクから
生まれたんだ

ちよんまげ婆は
十分バンパクの
展示物に
なるよ

1853年 日本にペリー来航
1859年 ダーウィン、「種の起源」発表
1861年 アメリカ南北戦争始まる

1853年 ニューヨーク万博
人間用エレベーター誕生

安全装置付きエレベーターの発明者オーチスは博覧会中、自ら実演。引き上げられる途中、突然切れるロープ! しかし、みごとにその場でエレベーターはストップ。「みなさん、ごらんの通り、オール・セーフです」と安全性をしっかりとアピール。

1862年 ロンドン万博
日本コーナーの展示物

初代駐日公使、オールコックが日本で収集した刀、漆器、浮世絵などのコレクションを展示。日本の美術工芸品の質の高さとすばらしさをヨーロッパに広めることになった。